


<p>松山観光ボランティアガイドの会</p>  <p>おいでんか通信</p>	<p>事務局 松山市大街道3丁目2-46 TEL 089-935-5711 ホームページ http://Matsuyama-guide</p>	<p>号外第23号 2019.9.15 発行責任者 大西修史 編集 広報事業部 部長 都合憲一</p>
---	---	---

第23回俳句甲子園報告

俳句甲子園が、8月17日（大街道）、18日（コミセン）に開催されました。毎年優勝候補の開成高校（東京）や昨年度優勝の徳山高校（山口）が早々と予選リーグで敗退するなど、非常に面白い大会になりました。優勝したのは、5回目出場の弘前高校（青森）でした（弘前高校に敗退した小樽潮陵高校は、噂の加藤浩次さん（吉本興業、極楽トンボ）の母校です）。

県勢4校は予選リーグで敗退、コミセンへは行けませんでした。

案内記などの詳細につきましては、「おいでんか通信」10月号にてご報告いたします。



背中に注目してみました



幸田高校（愛知）

弘前高校（青森）
描かれている金魚に特別な意味はありません（津軽錦でもありません）。



洛南高校（京都）

各校とも工夫を凝らした意匠ですね

徳山高校（山口）





竜の子？

松山城で石垣の上にくと目をやると、枯れた木の根元が伏せをする竜の子の姿に見えました。大きくなって空を舞い、お城を見守ってほしいと思いました。
(23日撮影)

松山市南久米町

芳野 友紀



芳野さんの投稿写真が載っていましたので、ご紹介します。

愛媛新聞
8月31日

日本の城ランクで松山城ワンランクダウンの4位（昨年）旅行サイト「トリップアドバイザー」の「口コミで選ぶ！日本の城ランキング2019」で松山城が4位（3）に選ばれた。上位は、姫路城、松本城、熊本城の順でした。
7位（2）に宇和島城、9位（8）に備前松山城がランクイン。
（トリップアドバイザー ホームページより）



愛大ミュージアムにて開催中
2020年1月27日（月）まで

moburu★アングル

まいちゃん

まちなかアートめぐり

知ってるかな？ 松山城の地下のヒミツ

松山城は二つの峰を削り、谷を埋めて本丸広場を造ったことは知られています。地質の面で見ると天守台付近で大きく二つに分かれています。天守台の北側には約九千年前のアジア大陸の火山活動による地下のマグマが冷え固まって出来た花崗岩類（御影石）で覆われています。一方、南側には約八千年前の海底に堆積して出来た和泉層群と呼ばれる堆積岩（礫岩・砂岩・泥岩）で花崗岩類の一部を覆っています。天守台周りを歩くと海岸で見える何とも不思議な丸っこい石を見つけたことができません。はて、この石は？ 分からないことは専門家に聞かない。「もぶる」6号で松山三越の一階床の化石について教えていただいた愛媛県総合科学博物館学芸員（地学担当）の山根勝枝さんにお聞きしました。礫岩・砂と小石が重なり合って岩石となったものが何万年もの長い時間をかけて風化が進み柔らかい砂の部分がある、丸っこい石をハンマーで割って確かめて教えていただいた姿が印象的でした。

【花崗岩】 【礫岩】 【砂岩】

（「MOBURU #12」より）

松山市制施行130周年記念 ● 一草庵リニューアル10周年記念 ● 種田山頭火没後80年記念

放浪の俳人
山頭火一草庵まつり

「茂本ヒデキチ 墨絵ライブペイント」

令和元年
10/13(日)
13:30 ~ 14:30

会場：一草庵（愛媛県松山市御幸1丁目435-1）

イラストレーター茂本ヒデキチが種田山頭火の絵馬の地「一草庵」にて山頭火の墨絵をしたためます。墨絵美学者明蔵徹水の指導と演奏とともに迫力のあるライブペイントをお楽しみください！

入場無料

主催：松山市文化芸術振興課、松山市文化財課、松山文化財団、愛媛県文化財団、愛媛県立総合文化センター、松山大学、松山大学短期大学部、松山大学文化財団、愛媛県立総合文化センター、松山大学、松山大学短期大学部、松山大学文化財団、愛媛県文化財団

「オフレコ」

タイタニック号建造の造船所破綻

1912年に氷山に衝突して沈没した豪華客船タイタニック号を建造した英領北アイルランドの造船所「ハーランド・アンド・ウルフ（1861年創業）」が破産を申請し、経営破綻しました。

坊ちゃん列車を製造したドイツの「クラウス社」はJ. A. マッフアイ（戦前のオリエント急行の牽引車を製造）と合併し、「クラウス=マッフアイ」として現在に至っています。